

## 鬼 町内各地で鬼火たき 退治！無病息災を祈る



↑ 細い竹にもちを刺し、火にあぶる集落のかたがた

1月7日、本町の各地区で鬼火たきがありました。この鬼火たきは、年男・年女と厄年の男女が火をつけ、竹が勢いよくはじける音で、厄や災難、病気の「鬼」を退治するといわれています。

この日、幣串集落でも毎年恒例の鬼火たきが行われ、子どもから高齢者まで大勢集まりました。やぐらにお神酒がささげられた後、火が付けられ、勢い良く燃え始めると「パン、パン」と竹のはじける音が集落中に響きわたっていました。集まった住民らは、燃え上がる炎を見つめ「今年は、大きな災難に襲われないように」などと思い思いに願いを込めていました。火が落ち着くと、一人一人細い竹の棒にもちを刺して火にあぶり、焼けたもちを食べ一年の健康を祈っていました。

落成式で「たる太鼓」を演奏する汐見小学校の児童ら↓



ま  
ち  
の  
話  
題

## ス 九州地区スポーツ推進委員研究大会 スポーツ推進委員功労者を表彰

九州各市町村のスポーツ推進委員（体育指導員から変更）が集まる九州地区スポーツ推進委員研究大会が1月21日、福岡市の国際会議場で開催され、城川内の飯尾明彦さんが表彰されました。

飯尾さんは、平成4年度から現在まで20年間地域における社会体育の推進者として携わってきました。この日は、スポーツの普及や活動に積極的に参加し、地域の活性化に大きく貢献したことが認められました。飯尾さんは「今後も町や町民の体力向上のため力になりたい」と抱負を語りました。



↑ 表彰後の飯尾さん（下段中央）と本町のスポーツ推進委員

## 地 新たな馬込研修集会施設が落成 地域の拠点がお披露目

1月22日、町道山門野汐見線の道路改良で移転となった馬込自治公民館（濱田重則館長）の研修集会施設の落成式が行われました。

この日は集落住民が集まり、町や工事関係者約80人が訪れたほか、汐見小学校（竹内功校長）の児童による伝統の「たる太鼓」や集落の女性らによる踊りなどでお祝いしました。濱田館長は「長島東西を結ぶ道路改良のおかげで馬込集落の活性化になった。今後は新しい施設を最大限に生かし、外からのお客を招けるようなイベントも計画したい」と話し、施設の落成を喜びました。